

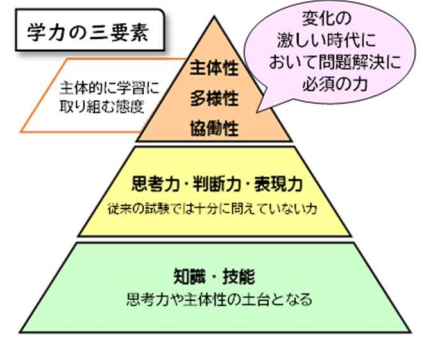
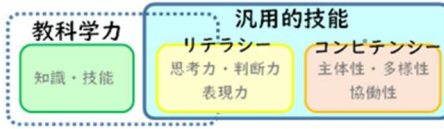
広沢小の子どもたち



保護者の皆様へ

本年度実施された全国学力・学習状況調査(6年生対象)及び、埼玉県学力・学習状況調査(456年生対象)における広沢小の子どもたちの概要をお知らせします。子ども一人一人の成長のために、生活習慣や学習習慣をよりよいものにする家庭実践項目の取り組みを進めていただければ幸いです。

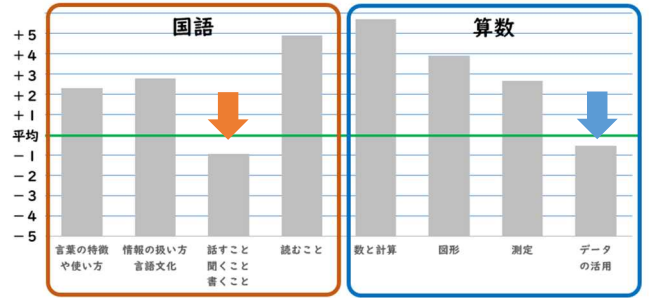
なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、学校における教育活動の一側面に過ぎないことをご理解ください。また、調査結果が序列化や過度な競争につながらないように十分配慮ください。本資料もそのあたりを十分踏まえた内容となっています。



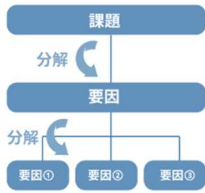
教科の平均正答率・児童生徒に対する調査の結果から見える小学生の課題

今回の調査では、今の子どもたちの学力の苦手傾向が明確になってきました。それは、「相手に伝えるための説明力」と「批判的思考力」です。

国語では「話すこと・聞くこと・書くこと(文章を作成したり、読解力を高めたり、相手に伝えたりするためのコミュニケーション能力)」、算数では「データ活用(身の回りの事象をデータから捉え、問題解決に生かす力、データを多面的に把握し、事象を批判的に考察する力)」で県の平均を下回る結果となりました。



説明力が身につく論理的思考力



批判的思考力とは



なぜ?本当に?の思考

◆「相手に伝えるための説明力」と「批判的思考力」を高めるために

学校では...

音読	授業で文章を読むときは、音読する力、問い直す力、読み直す力を身につける。音読することで正確な読みを身につけ、教師の設問に答えることで文の意味や作者の意図を理解する。
要約	授業で学んだことを要約する力を身につける。要約することで文章の要点や構造を把握し、自分の言葉でまとめることができる。
調べる	授業で関心を持ったことについて自分で調べる力を身につける。調べることで知識や情報を広げ、自分なりに新しいことを考えたり、他の人の意見と比較したりすることができる。
批判的聴取	授業で意見を聞くときは、話におかしなところがないか考えながら聞く力を身につける。話している人の思い込みや誤りに気づき、自分の考えや根拠を述べるができる。

家庭では...

読書	読書することで語彙や表現の豊かさを身につけ、文章からイメージや感情を引き出すことができる。自分が体験したことのないことも本を通して疑似体験でき、人の考えや立場を理解することができる。
会話	親子の会話をする中でコミュニケーション能力や思考力を磨くことができる。読んだ本や見た映画、学校での出来事など、自由に話し合うことで自分の考えや感想を言葉にすることができる。
執筆 作文	作文トレーニングをすることで書く力や表現力を身につけることができる。作文は自分の考えや体験を文章にまとめる必要があるため、文章の構成や論理性、説得力のある内容について考えながら書くことができる。

国語での課題	算数での課題
意見や情報を正確に理解し、適切に反応する能力/文章を通じて思考を伝える能力 ・文章を読んでその内容や意図を理解する力 ・自分の考えや感想を文章にまとめる力 ・文章の構成や表現方法について考えることや、文法や用語を適切に使うこと ・読書量や読書習慣の低下	情報を整理し、解釈する能力/批判的思考力 ・基礎的な計算や図形の知識・技能だけでなく、問題解決のための思考力や表現力が乏しい ・複数の手順や条件が必要な問題に対して、適切な方法で解答したり、解答過程や理由を説明したりすることが苦手

課題解決のための目標	国語での目標	算数での目標
	・多様なジャンルやテーマの文章を読み、その内容や意図を考えたり、自分の感想や意見を述べたりする。 ・文章を書く際には、自分の考えを明確に伝えるために、文法や用語を正しく使うことや、文章の構成や表現方法に工夫する。 ・自分の興味や関心に合った本を選んだり、読書感想文や本の紹介などを通して読書の楽しさを感じたりする。	・基礎的な計算や図形の知識・技能をしっかり身に付ける。 ・問題解決のために必要な情報を整理したり、論理的に推論したり、自分の考えを言葉や図で表現したりする。 ・日常生活や社会の中で出会う算数的な事象に気づいたり、自分で問題を作ったり解いたりすることで面白さや有用さを感じたりする。